

石嵯美乃さん（環境科学専攻・博士前期課程 2 年）が日本地質学会 第 129 年学術大会で優秀ポスター賞を受賞しました

石嵯美乃さん（環境科学専攻地球科学コース・博士前期課程 2 年）の発表が 2022 年 9 月 10 日～11 日に開催された日本地質学会第 129 年学術大会ポスター発表において、優秀ポスター賞を受賞しました。

本賞は、オンラインで開催されたポスター発表を対象に、学術発表の優秀ポスターとして授与されたものです。当該発表では、宮城県に分布する三畳紀（約 2 億 4 千万年前）の地層を調査した結果に基づき、堆積環境の復元と当時の海洋貧酸素化メカニズムについて議論しました。このような研究内容のオリジナリティに加え、ポスターのレイアウトやわかりやすさなどが評価されました。

発表者：石嵯美乃（環境科学専攻地球科学コース・博士前期課程 2 年）

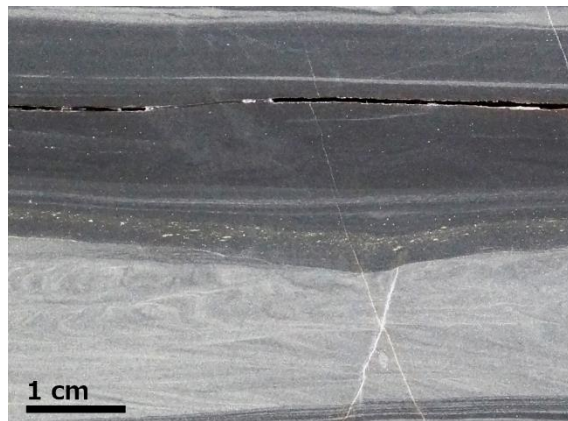
椎野勇太（理学部/自然科学研究科環境科学専攻地球科学コース）

発表題目：下部三畳系大沢層の堆積場と酸化還元環境の復元：頻発する洪水流がもたらす沿岸域の貧酸素化メカニズム

大会 HP：<https://confit.atlas.jp/guide/event/geosocjp129/static/etc#sho>



オンラインポスター発表風景。



古環境の復元に用いた岩石研磨面のひとつ。
砂や泥の堆積構造がはっきりと観察できる。